

くろしお



【南郷小学校では、こんな児童を育てます】
「豊かな心と自ら学び考える力を持ち、
たくましく生きる児童」

日南市立南郷小学校「学校だより」

平成27年度 NO7 (11月27日(金))

「寒さ」の記憶



11月とは思えないような暖かさが続いていましたが、「初冬」を感じさせる冷え込みがやってきました。

この時期になると思い出すのが、寒風吹きすさぶ中での「大根引き」と「しもやけ」の記憶です。

小さいころ、母に連れられて、近くの畑に植えてある大根の収穫に行くのが、この時期の日課でした。すぐそばを流れる川面に映る夕景と冷たい北風が、幼な心にも一層もの悲しさを感じさせました。寒さに震え立ちすくむ私の横で、母はせつせと大根を引きます。それを2、3本ずつ、堤防を上ってリヤカーに積むのが私の役目だったように思います。たぶん、手袋もしていなかったのでしょう。まだ泥がついたままの大根が、それはそれは重く冷たかったこと。そして、抱きかかえた大根の葉っぱが寒さに凍えるほっぺたに当たり、ちくちくと痛かったこと。

もう一つの冬の記憶が「しもやけ」です。私は、小学校低学年のころまで、冬になると手足の指や耳たぶがしもやけになっていました。かゆいから無意識にひっかく。そうすると、だんだんそこがただれてきて、あかぎれのようになる。特にひどかったのが左手の薬指の付け根辺り。その部分は、毎年必ずと言っていいほどしもやけになり、ただれてひどい状態でした。今でもその痕がしっかりと残っています。

「大根引き」と「しもやけ」は、子どもの私に「冬の厳しさ」を教えてくれたような気がします。もちろん、冬そのものの厳しさは、北国には遠く及びませんが、いかんともしい難い自然の振る舞いを前にして、「堪え忍ぶ」ことや「自然への畏敬」を感じるには、十分過ぎる体験でした。

今は、豊かな時代。冬でも「寒さ」を感じないで済みます。また、我が子に「寒い思い」をさせたくないという親心もあります。しかし、必要以上に「寒さ」から遠ざけようとする温情は、時に子どもから成長の機会を奪うことにもつながります。「寒さ」以外にも、「子どもが乗り越えなければならないハードル」はいろいろあります。必要なハードルは、取り除くことなく、きちんと飛び越えさせることも大切な「親心」だろうと思います。

2学期も残り1か月足らずとなりました。「命を大切に」「あいさつをする」「いいことは進んでやり、悪いことはしない」の3つの年間目標の達成に向けて、頑張っしてほしいと思います。

12月の主な行事予定 (※予定です。詳細は文書等で確認を)

- 1日(火) 安全点検 (職員による月1回の校内点検)
- 2日(水) フッ化物洗口 全校集会
- 3日(木) A L T来校
- 4日(金) 読み聞かせ (下学年)
「人権と平和を考える週間」(10日)
- 6日(日) 日曜参観日 (持久走大会)
- 7日(月) (振替休業日)
- 9日(水) フッ化物洗口 学年集会
- 10日(木) A L T来校 南郷中入学説明会
- 15日(火) 図書司書来校
- 16日(水) フッ化物洗口
- 17日(木) 避難訓練 (火災) A L T来校
- 22日(火) 図書司書来校
- 23日(水) (祝) 天皇誕生日
- 24日(木) 終業式



生きて働いてこそ「学習の成果」

今月は、修学旅行(6年生:鹿児島)や集団宿泊学習(5年生:青島青少年自然の家)がありました。このような行事は、日常の教育活動の成果をみることが出来る機会になります。

学校の中ではしっかりとできるあいさつが、知らない人や場所ではどうか。いつもと違う環境の中で、周囲の状況に応じて、ふさわしい対応や望ましい行動ができるか・・・などなど。さて結果は・・・5年生も6年生も、その期待にしっかりと応えてくれて、引率した私たちも低い鼻が高くなった気分でした。「楽しさ」だけでない、内容の濃いものになりました。

ご協力に感謝します



先週より児童の登下校や在校時間帯における校内への車の進入制限を設定しております。ご来校の皆さんには、趣旨をご理解いただき、ご協力いただいております。心より感謝申し上げます。

「コメリ緑育成財団」より助成金 (※詳細裏面)